シェアリング

シェアリングエコノミーとは

* “インターネットを介して、使われていない資産を活用すること”が基本
* 「個人が保有している遊休資産の貸出を仲介するサービス」「使われていない資産、リソース（中略）を有効活用することで新しい価値を生むもの」
* 個人間で貸し借りや売買を行うCtoC、もしくはBtoBサービスのこと
* 似たような概念としてP2P(peer to peer)(→P2P金融)
* 時間や労働力までシェアするというサービスも台頭する
* インターネットの急速な発展は、ニュー スや書籍・音楽や映像などの脱物質化・低価格を進めている
* 社会的共感としての共有、余剰キャパシティへの自覚と認識



魅力とは、(ビジネスの視点では)最小限のコスト、効率性、利便性、仲介業者の排除

* 利用者にとっては、企業の仲介が減少し中間マージンが抑えられ、これまでより低料金でサービスやモノを手にすることができる
* 企業側のメリットに関して、とくに注目が集まっているのはクラウドソーシングというシェアリングエコノミーの分野

============================================================

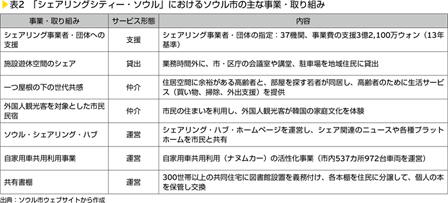
問題・効果

* 信頼・信用の問題
  + ユーザーの信頼度をこれまでのオンライン活動履歴や既存サービスからスコア化するサービス
  + 東京海上日動火災保険や損害保険ジャパン日本興亜はシェアリングサービスのプラットフォーム事業者を対象に保険を提供
* 「ギグ・エコノミー」（単発で仕事を発注する非正規労働経済）とも呼ばれ、最近労働面での問題が注目
* シェアリングエコノミーへの規制
  + 旅館業法や道路運送法
* 共有地問題
* 環境負荷低減効果
* 家計にとっての貨幣所有の意義は相対的に低下する可能性

============================================================

データ

* シェアリングシティー・ソウル



============================================================

【ガイアックスが考えるシェアリングエコノミーの4領域】

* モノのシェア（各種フリーマーケット・衣服などのファッション等）
* 場所のシェア（駐車場・会議室・民泊・ルームシェア等）
* 移動のシェア（カーシェアリング・ライドシェア等）
* リソースのシェア（労働力・技術・お金等）

【おもなシェアリングエコノミーサービス】

* Airbnb
* DogVacay
* Lyft
* Feastly
* Taskrabbit
* UBER
* Spacemarket
* Akippa
* 軒先パーキング
* メルカリ
* ecbo cloak（エクボクローク）
* SCOUTER（スカウター）
* Crowd Realty（クラウドリアルティ）
* お寺ステイ(OTERA STAY)
* TimeTicket（タイムチケット）
* Any+Times（エニタイムズ）
* KitchHike（キッチハイク）
* 輸送(ウーバー、リフト、ブラブラカー、Didi Kuaidi)
* 宿 泊 ( A i r b n b 、K o z a z a 、カウチサーフィン)
* 家事 サービ ス (タスクラビット、ケア・ドットコム)
* 配送(ポストメイツ、インスタカート)
* 小売Eコマース(eBay、Etsy、タオバオ)
* 消費者ローン(レンディングクラブ、プロスパー)
* 海外送金(トランスファーワイズ、カーレンシーフェアー)
* プロジェクトファイナンス(キックスターター)
* コンピュータ・プログラミ ング(oDesk、フリーランサー)

============================================================

シェアリングエコノミーの本質は範囲、規模の成長に伴い変化しつづける。特に注目すべき点として、従来のP2P型（個人対個人）での成長は、（経済全体に占める）シェアが25％前後に達した時点で頭打ちとなり、その後プラットフォーム全体を事業者の出現に伴いB2Cモデルに変化する

============================================================

世界のシェアリングシティ事情

* ソウル

政府主導型のシェアリングシティ

* サンフランシスコ

世界初Airbnbに適用する規制を作った都市でもあり

* アムステルダム

通勤バスをシェアするライドシェアやUberやLyftのようなオンデマンド配車サービスが特に広く受け入れられている

* シェアリング、インバウンド、民泊
* 人口、高齢化、生産性、
* 企業と雇用関係を結ばずにインターネットを媒介にして働く、いわゆるシェアリング・エコノミーで働く労働者の数が1030万人に達したとJPモルガン・チェイス研究所が報告した。
* 千葉、浜松、長崎県島原、佐賀県多久、秋田県湯沢の５市はこのほど、「シェアリングシティ宣言」を発表